

平成31(2019)年度 さっぽろっ子「健やかな体」の育成プラン

目標 生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力の育成

◎子どもに育みたい3つの力

- ・主体的に健康の保持増進に取り組む態度
- ・運動、健康、安全に関する基礎的・基本的な知識及び技能
- ・学んだ力(運動、健康、安全に関する知識や技能)を日常生活に活かす思考力、判断力、表現力等

◎札幌市としての「体力」の押さえ

「健やかな体」の基礎となる体力は、生涯にわたる健康維持のほか、体力を充実し、知性を高め、基盤となるものであり、これからの変化の激しい社会を生き抜いていくために、極めて重要なものである。

①**体力・運動能力** (H30全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実技調査から)
 ・新体力テスト(小5・中2で実施)の体力合計点の平均値は、全国平均値と比較すると低い状況にある。
 ・各種目の値を経年変化で比較すると、特に課題であった持久力の向上がうかがえるなど、全体的に改善のきざしが見られる。

②**運動・スポーツへの意識、運動習慣** (H30全国体力・運動能力、運動習慣等調査 児童生徒質問紙から)
 ・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と考える子どもの割合は、小中学校、男女ともに全国平均とほぼ同程度の約9割を維持している。
 ・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合はここ数年横ばいの傾向が続いている(小5男子:6.4%、小5女子:11.6%、中2男子:10.5%、中2女子:24.6%)。

③**生活習慣** (H30全国体力・運動能力、運動習慣等調査 児童生徒質問紙から)
 ・朝食を毎日必ず食べる子どもの割合は、全国平均より低い傾向にある(小5男子:81.9%、小5女子:81.4%、中2男子:79.9%、中2女子:76.5%)。
 ・1日(平日)に2時間以上テレビやゲーム機、スマートフォンなどの画面を見ている子どもの割合は、全国平均より高い傾向にある(小5男子:64.4%、小5女子:51.7%、中2男子:67.6%、中2女子:63.6%)。

体育に関する指導の充実

健康に関する指導の充実

「健やかな体」育成プログラムの改訂・実施

「健やかな体」育成プログラムの目標や重点と、その達成に向けた取組について、以下の四つの視点から、カリキュラム・マネジメントの充実を図ります。

学校間の共有

学校間(幼小・小小・小中など)で取組を交流し、連続性・発展性を重視して工夫改善する。

子どもとの共有

体育・健康に関する課題を、子どもが自ら発見し、目標をもって「健やかな体づくり」に取り組める手だてを講じる。

教師間の共有

目標や取組の重点について、共通理解を図るとともに、指導と評価の計画や学習形態(合同体育、男女共習)等を、適宜改善しながら取組を進める。

家庭・地域・外部人材との共有

目標や取組の重点について、家庭や地域、外部人材と共通理解を図り、協力しながら取組を充実させていく。

各学校の取組を支援

体力・運動能力の向上

- ◎**体育・保健体育の授業の充実(課題探究的な学習の推進)**
 自ら課題をもち、十分に体を動かしながら主体的に課題の解決を目指す学習の推進、運動が苦手な子どもも意欲的に学ぶことができる指導の充実
- 大学との連携による調査研究**
 詳細な現状分析、これまでの取組の検証、新たな体力向上策の検討
- なわ跳び運動の取組の継続・発展**
 新たな指導資料の作成、さっぽろっ子「なわ跳び甲子園」の開催、関係機関との連携等による子どもの発達の段階に応じた取組の充実
- 運動・スポーツを楽しむ機会の充実**
 大学との連携による中学校文化系部活動等スポーツ大会の実施
 生徒会スポーツサミット(仮称)の実施、スポーツグッズ貸出の仕組づくり
- 札幌らしいオリンピック・パラリンピック教育の推進**
 児童向け副教材・教師用指導参考資料等の活用、オリンピック・パラリンピック教育推進事業の実施により、オリンピック・パラリンピックの理念やスポーツの価値等への理解を深める学習を普及・啓発

部活動の改善

- 「札幌市立学校に係る部活動の方針」の策定・周知
- 「課題探究的な学習」の趣旨を踏まえた活動の推進
- 学校への支援体制の充実(部活動指導員等外部人材の活用、学校間連携方式の推進など)
- 練習時間や休養日の設定等を含む適切な部活動運営の推進
- 指導者研修会の実施による、顧問教諭および外部人材の資質向上

基本的生活習慣の確立

- 「健やかな体」をつくる生活習慣の定着
- 自ら健康に関する課題をもち、主体的に課題の解決を目指す学習の推進
- 家庭と連携した習慣づくり
 ・健康三原則(運動、食事、睡眠)の重要性の普及・啓発
 ・親子で楽しめる取組事例等の紹介
- 早寝、早起き、朝ごはんの推奨
- がん教育の推進

食育の推進

- 栄養教諭・栄養士と連携した「食に関する指導」の充実**
- 「食に関する指導の手引」の活用促進
- 地産地消やフードリサイクルの取組を活用した食と環境を結びつけた学習の充実
- 健康的な望ましい食習慣を身に付けるための食に関する指導の充実
- 「命を大切に」する指導」と関連を図った指導の充実
- 「性に関する指導の手引」の活用促進
- 性に関する指導の年間指導計画の改訂の推進
- 産婦人科医師・助産師の講師派遣事業の充実
- 道徳教育、人権教育と関連を図った指導の充実

性に関する指導の充実

学校の取組

教育委員会の取組

市民ぐるみの取組

関係機関等との連携
 ・札幌市スポーツ局 ・札幌市環境局 ・北海道教育委員会 ・大学 ・学校体育研究団体
 ・アスリート派遣団体(A-bank北海道、北海道オリンピック・パラリンピアンズなど)
 ・関連企業 ・プロスポーツチーム など

・札幌市保健福祉局 ・北海道教育委員会・大学 ・学校体育研究団体 ・医師会
 ・助産師会 ・PTA協議会 ・関連企業 ・プロスポーツチーム など

・「さっぽろっ子『学び』のススメ」の配布・活用による、学校、家庭、地域が一体となった子どもの「運動・生活習慣づくり」の推進
 ・「健やかな体」の育成に係る各種事業及びイベントの案内 ・子どもの体力・運動能力向上フォーラムの開催 ・サッポロサタデースクール事業における運動・スポーツ等の取組 等

※「健やかな体の育成」の表記について～これまでは、教育基本法における表記に従い、「健やかな身体(しんたい)」という表記を用い、「からだ」と読むこととしておりましたが、国の第3期教育振興基本計画では、「健やかな体(からだ)」と表記していることから、より一般的な表現となるよう表記の仕方を改めました。